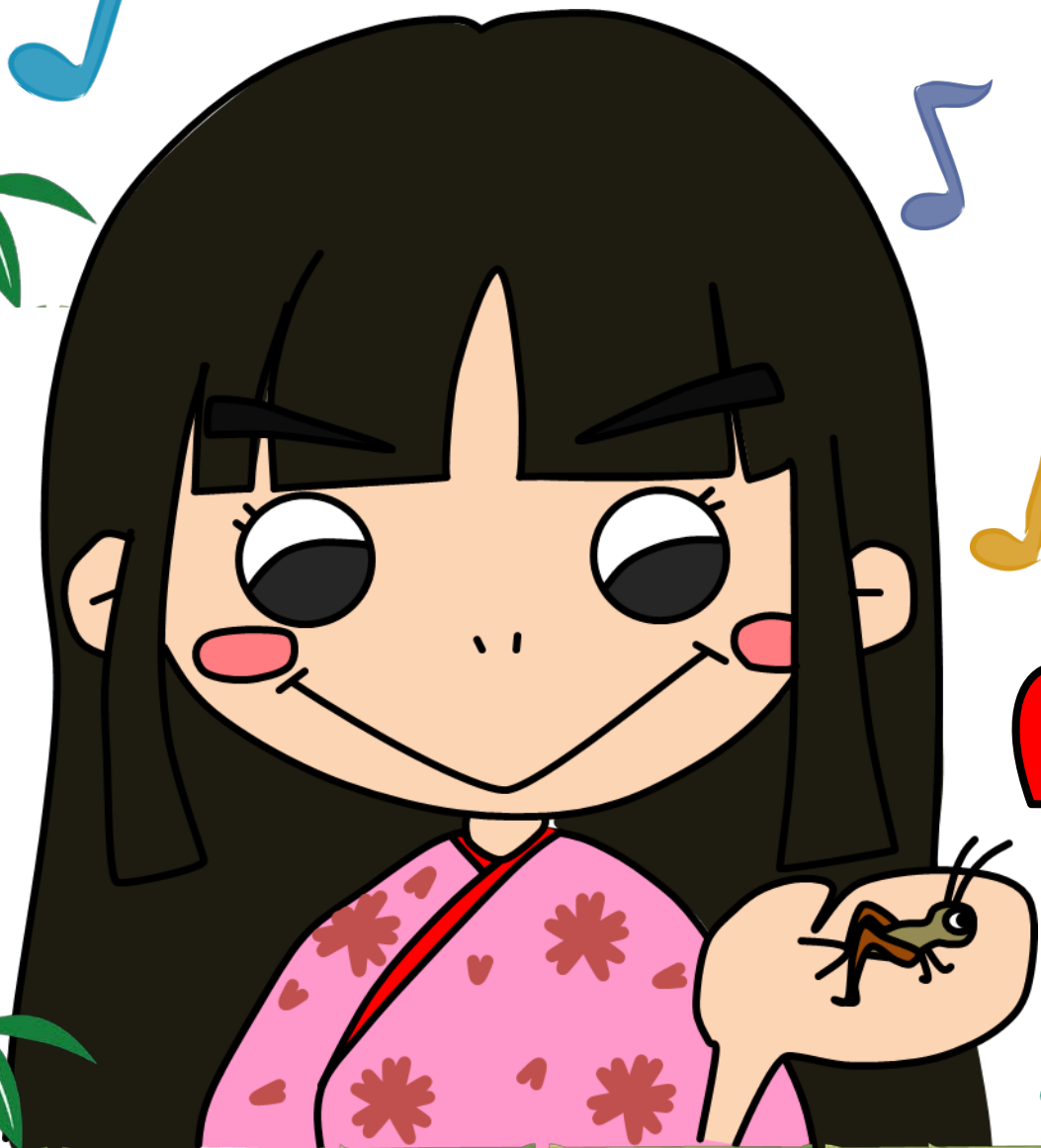




虫の声を楽しむ本 根白石の巻



根白石市民センターのまわりの地図



たちどまって
きいてみよう
ポイント

- ・ 緑がたくさんあって、道路わきなどの茂みにもたくさん虫がいるよ。
- ・ 小学校の校庭では、虫の他にカエルも見つけたよ♪
- ・ 車通りの多い道もあるから、道路を渡る時は気を付けてね。



ここで暮らしている虫たち

(平成30年9月7日に観察した虫)

コオロギのなかま

シバズズ

マダラスズ

エンマコオロギ

ハラオカメコオロギ

キリギリスのなかま

セスジツユムシ

ヒメクサキリ

ササキリのなかま

バッタのなかま

コバネイナゴ

オンブバッタ

次のページでは、個性豊かな鳴き声をもつ、
コオロギやキリギリスのなかまをご紹介します！

9種類

コオロギのなかま

シバズズ



6mmくらい

- ・ 芝生にいっぱいいる
- ・ 芝生を歩くと、ぴよんぴよんはねる。
- ・ 「ジ————」
体が小さいので声もちょっと小さい

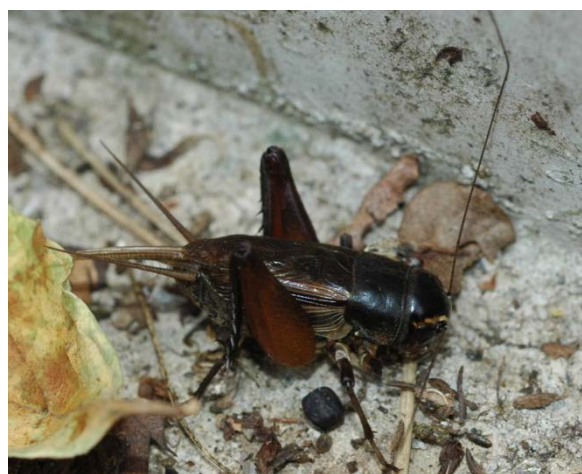
マダラスズ



6mmくらい

- ・ シバズズよりも、おしゃれ（白黒の模様）
- ・ シバズズと同じくらいのサイズ
- ・ 「ビー、ビー、ビー」
声はシバズズと似ているけれど、区切って鳴く

エンマコオロギ



3cmくらい

- ・ いちばんメジャーなコオロギ
- ・ コオロギの中では一番大きい
- ・ 歌うように、高い声で鳴く
- ・ 「コロソーコロコロ…」
と鳴き声が表されることが多いけれど、コロコロよりキリキリの方が近い（気がする）

コオロギのなかま

ハラオカメコオロギ ・ エンマコオロギの半分くらいのサイズ



1.5cmくらい

- ・ 横から顔を見ると、お面のよう
に、顔が平たく、切ったように
ストンとしている
- ・ 「ギツギツギツギツ…
ギツギツギツギツギツ」
4～5音で区切って鳴く

キリギリスのなかま

セスジツユムシ



4cmくらい

- ・ その名のとおりに、背中に1本筋が入っている
- ・ オスの筋は茶、メスの筋は白
- ・ 3cmくらい
- ・ 「チキッ チキチキッ」
線香花火の音
だんだん鳴き方が盛り上がってくる

ヒメクサキリ



5cmくらい

- ・ みどりいろ
(ちゃいろもいるよ)
- ・ 「ジ————」
力強い声
ちょっと、耳ざわりに感じる人もいるかも

ササキリのなかま



1.5cmくらい

- ・ みどりいろで背中だけ黒っぽい
- ・ ウスイロササキリ、ササキリ、ホシササキリなど、よく似たなかまがいっぱい
- ・ 「ジキジキジキジキジ」
(ササキリ)
- ・ 「ザー」もしくは「ヂー」
(ホシササキリ)

おまけページ

将軍家に献上された宮城野のスズムシ

今からさかのぼること200年以上前、江戸時代。仙台の宮城野のスズムシの美声は全国に知られ、伊達藩から江戸(東京)の将軍家に毎年届けられていました。

なんと旧暦の8月1日(今の9月上旬頃)までは将軍様のために、スズムシ狩り禁止のお触れが出ていたくらいです。



仙台市の虫、スズムシ

こうした歴史もあり、スズムシは昔から仙台の人々に親しまれ、昭和46年には市民投票により「仙台市の虫」になりました。

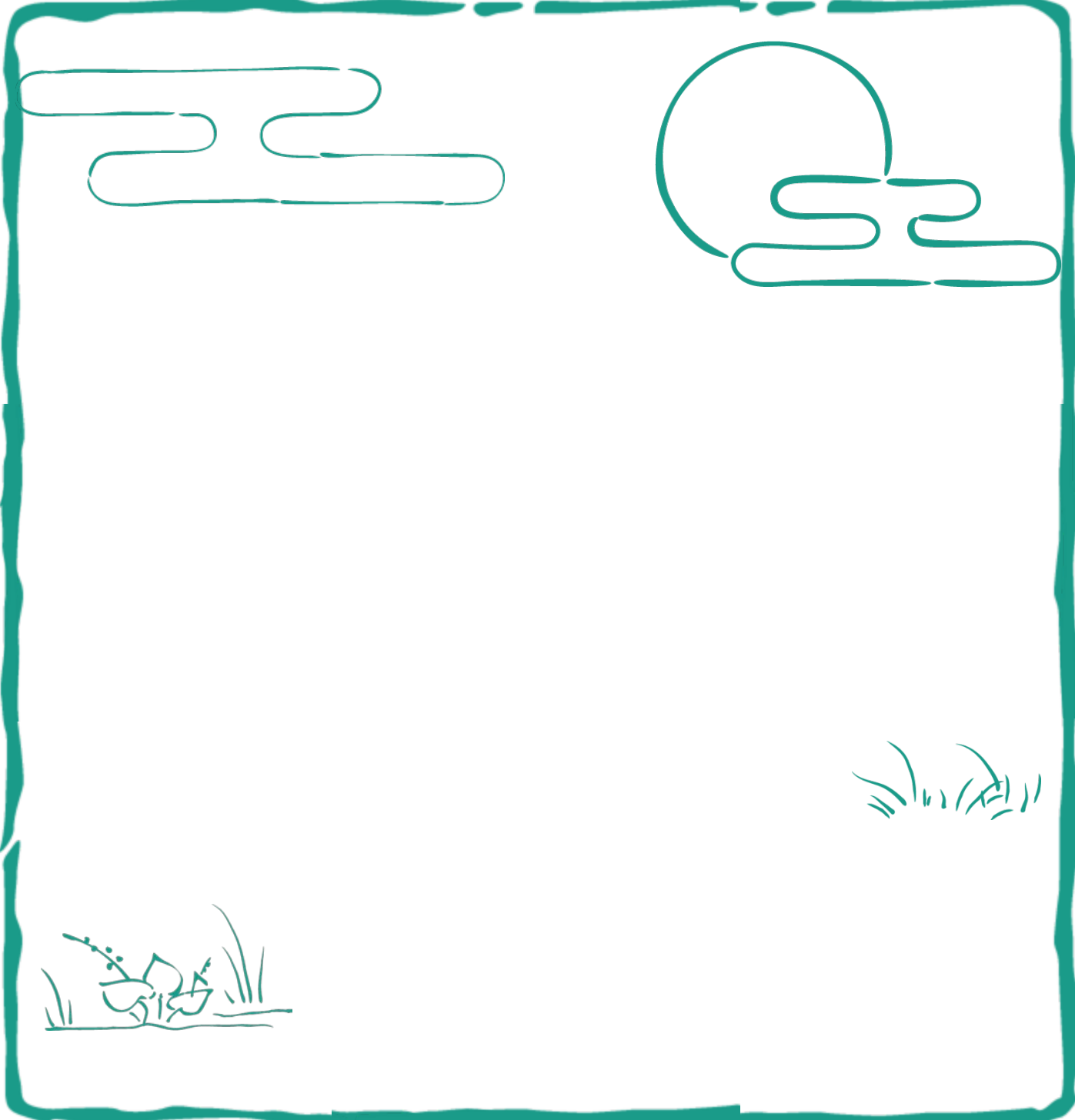
残念ながら、現在仙台で野生のスズムシはほとんど確認されていませんが、「すずむしの里づくり実行委員会」のみなさんの飼育・普及活動等により、季節になると、スズムシが美しい音色を奏で、多くの市民に愛されています。

岩切市民センターの「すずむし室」

宮城野区にある岩切市民センターには、スズムシ専用の部屋があります!その名も「すずむし室」。

このすずむし室では、毎年、数千、数万のスズムシ達が、「すずむしの里づくり実行委員会」のみなさんの愛情いっぱいのお世話のもと元気に育っています。毎年、夏になると配布会もしているの、家で育ててみたいという方は岩切市民センター(Tel 022-255-7728)まで!





この本は、生物多様性保全推進事業「虫の声を楽しむ会～根白石の巻～」
(平成30年9月7日)でみつけた虫をもとに作りました。

◆作成・写真協力：太白山自然観察の森◆



ホームページで、虫の声を楽しむ会の様子や、様々な生きものの奏でる音を配信しています！のぞいてみてね。

生物多様性保全推進事業ホームページ
(仙台市環境Webサイト たまきさん内)

<http://www.tamaki3.jp/wildlife/index.html>



スマホや携帯で
バーコードを読み取ってみよう！